

現在の仕事について

第2期 OB 梶山 啓介

小野晃典研究会の皆さまこんにちは、2期生の梶山です。今年もこのような執筆の機会を頂き、誠に感謝しています。また諸活動で忙しいにもかかわらず、わがままなOBの取りまとめ、OB会当日の準備と行ってくれた現役生の皆さま、ありがとうございます。

早いもので、今回のOB会誌で3回目の執筆になります。年の暮れに執筆依頼を頂くのですが、ちょうどそれが、現在経営している会社が決算を迎えるタイミングと同じ為、毎年この執筆の場をかりて1年間の振り返りや、会社を創業してからの振り返りをさせてもらっている気がします。

今年も無事、株式会社エッジコネクションの4期目を黒字で終わらせることが出来ました。決算は毎年のことですが、4年目を迎えた今でもやはり、1年間経営して黒字で終わるといことは何事も変えたい達成感があります。そして、一緒に働くメンバーを増やすことが出来たため、2010年は20名ほどのメンバーと共にその達成感を味わうことが出来ました。



株式会社エッジコネクションのメンバーたちに囲まれて

◆大きな変化の中で

そんな達成感一杯の2010年でしたが、年初から比べるとメンバー数も倍以上になったため、働く環境はかなり変化しました。そしてその変化の中で、色々なことに気づかされ、試行錯誤を繰り返すことで、また改めて成長させてもらうことが出来ました。その中の1つが、「**自分の仕事の線引き**」という考えです。

会社をまとめること、社員のモチベーションを上げること、売り上げをつくること…。自分の仕事は比較的簡単にあげることが出来ます。しかし、何よりも**大事なことは「自分の仕事の線引き」を明確にし、「自分の仕事ではないこと」を把握することです。**

例えば、代表としての私の大事な仕事として「売り上げをつくること」があります。ただしこれは、全員のノルマを代わりに達成して、売り上げをつくることではありません。私の仕事は、「自分の責任の売り上げをつくること」と「それぞれの部署の数字を達成させること」です。つまり、私は2つある事業部の部長達に対して仕事を達成させるためのサポートを行い、部長は、「それぞれの部下の数字を達成させること」が仕事になります。

◆自分の仕事を把握する

自分の仕事がか何かをはっきりと認識していないと、その仕事を期待している人間とギャップが生じ、周囲の人間から不満が生まれます。一方で、自分の仕事の線引きが出来ず必要以上に行ってしまうと、周囲の人（特に部下）は、「あ、これもやってくれるんだ」と甘えが生じます。私もそうですが、自分でなんとか頑張ろうとするタイプは特に注意が必要です。自分の仕事は「部下を成長させること」であり、「代わりに仕事をしてあげること」ではありません。

この「自分の仕事の線引き」をしっかりすることで、自分の部下に対する態度に自信が生まれ、厳しい態度が取れるようになります。そして、その態度を見て、部下は自分の仕事に責任を感じて頑張ります。責任は人を成長させます。

まだまだ小さな会社ですが、それぞれのメンバーが自分の仕事を認識することで、これからも成長を続けていきたいと思えます。小野ゼミも、かなり責任が与えられるゼミだと思えますので、現役生の皆さまもその責任が与えられている環境を楽しみながら、みんなで成長してください！！



ビール片手に社長業